

令和4年度公立学校共済組合広島支部決算の概要

共済組合は、組合員の掛金・保険料及び地方公共団体等の負担金を財源として事業を行っています。

医療給付等を行う短期給付事業、年金給付等を行う長期給付事業、福祉の向上を目的とした福祉事業（保健、貸付）の決算概要を報告します。

組合員数等の状況（令和5年3月末）

令和4年10月の制度改正により会計年度任用職員等の短時間勤務職員が共済組合に加入したため、令和4年度末の組合員数は、前年度から2,097人増の26,647人となりました。

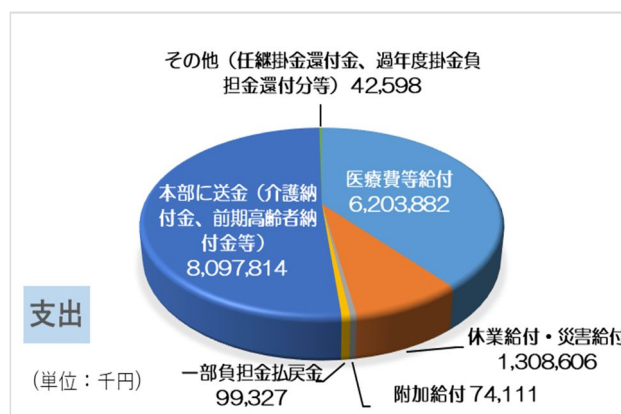
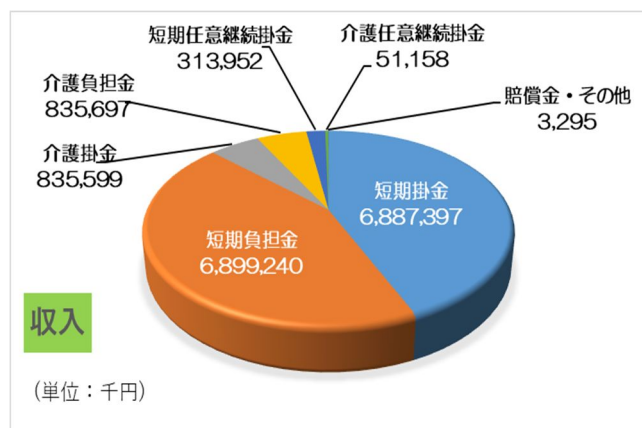
区 分	組合員数（人）				被扶養者数 （人）	1人当たり 被扶養者数（人）
	一般組合員	短期組合員	任意継続組合員	計		
令和3年度末（A）	23,857	-	693	24,550	15,230	0.62
令和4年度末（B）	21,451	4,544	652	26,647	15,476	0.58
B - A	△ 2,406	4,544	△ 41	2,097	246	△ 0.04
前年度比（%）	△ 10.09	-	△ 5.92	8.54	1.62	△ 6.45

各経理の状況（令和5年3月末）

1 短期給付事業（短期経理）

組合員とその被扶養者の医療給付等（病気、負傷等に関する給付）を行う事業です。

収入及び支出は次図のとおりです。



短期給付件数の合計は次表のとおり 554,620 件で、組合員数の増に伴い、前年度から 7.22%増加しました。

区 分		件 数	前年度比（%）
法定給付	医療費等給付	542,090	7.31
	休業給付	7,098	2.16
	災害給付	1	△ 50.00
	（小計）	549,189	7.24
附加給付	附加給付	2,121	2.32
	一部負担金払戻金	3,310	8.56
	（小計）	5,431	6.03
合 計		554,620	7.22



2 長期給付事業（厚生年金保険経理・退職等年金経理・経過的長期経理）

組合員の老齢・障害又は死亡等の事由による年金給付等を行う事業です。長期給付は本部で行っているため、収入は、過年度掛金負担金の還付分を除き全額を本部に送金しています。各経理の収入は次図のとおりです。

厚生年金保険経理 (単位：千円)

過年度保険料・負担金 1,909



退職等年金経理 (単位：千円)

過年度掛金・負担金 122



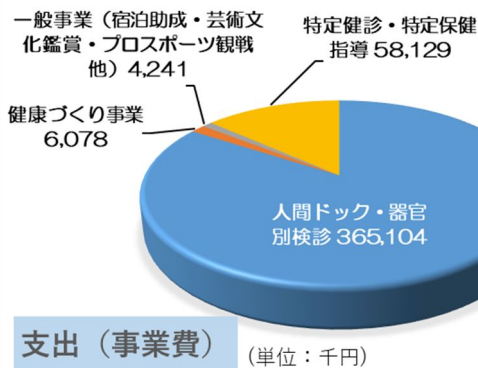
経過的長期経理 (単位：千円)

過年度負担金 2



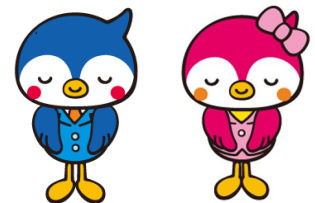
3 保健事業（保健経理）

組合員とその家族の健康保持増進、元気回復に資する事業を実施しています。事業費の支出状況は次図のとおりです。人間ドックの受診人数は 10,821 人で、対象年齢者の減により前年度から 1.83%減少しました。



人間ドック受診人数 (単位：人、%)

区分	受診人数	前年度比
指定年齢健診（40歳以上）	4,829	△ 2.43
指定年齢健診（39歳以下）	1,820	△ 0.27
シニア健診	4,172	△ 1.81
合計	10,821	△ 1.83



4 貸付事業（貸付経理）

一般、住宅、教育等の 12 種類の貸付を行っています。新規貸付件数及び貸付金額は、次表のとおりです。

貸付種別	件数	金額（千円）	前年度比（%）	
			件数	金額
一般（特別を含む）	87	118,300	△ 11.22	△ 20.39
住宅（介護住宅を含む）	9	65,000	△ 62.50	△ 58.88
住宅災害	0	0	-	-
教育	29	54,970	45.00	30.88
災害	0	0	-	-
医療	2	2,100	△ 33.33	△ 41.67
結婚	4	6,400	33.33	56.10
葬祭	0	0	△ 100.00	△ 100.00
高額医療	0	0	-	-
出産	0	0	-	-
合計	131	246,770	△ 12.67	△ 31.26

